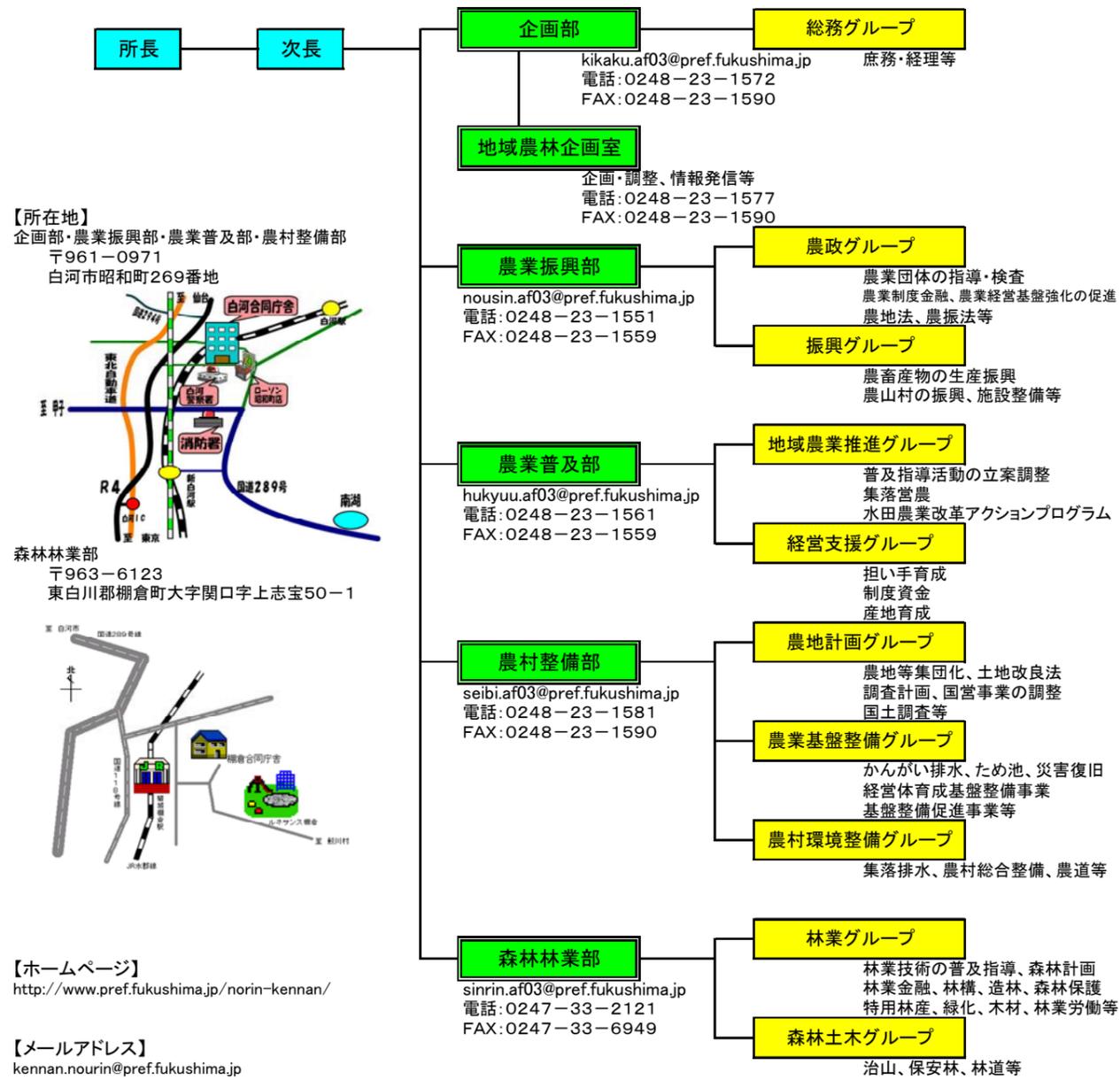


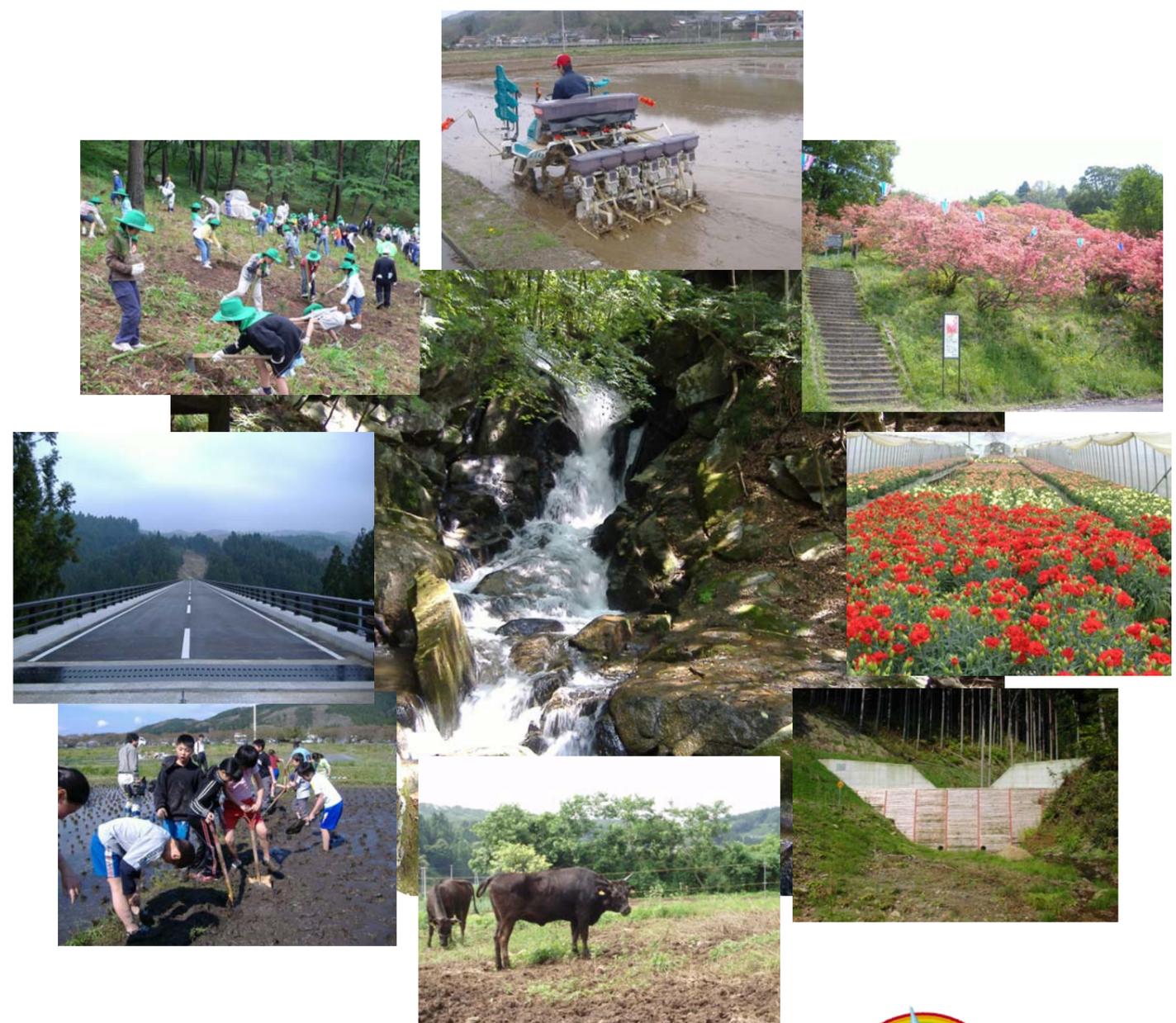
県南農林事務所組織体制図



県南地方の農林業



つくろう 住み良い農山村 活かそう農林業の力



【表紙写真】

水稲直播 矢祭町

風呂山公園のツツジ 塙町

第57回地方植樹祭 白河第一小学校緑の少年団

銚子ノ口滝 矢祭町(滝川溪谷)

カーネーション栽培 矢祭町生産農家

江竜田大橋 広域営農団地農道整備事業 鮎川村(東白川地区)

田んぼの学校 塙町(塙小)

牛の放牧による遊休農地の解消 棚倉町

治山ダム 塙町(入山地区)

水の妖精「みなもん」
源流の里である県南地方のキャラクターです

福島県県南農林事務所

平成19年5月



I 県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町4村からなり、その面積は1,233.24km²(西白河郡612.30km² 東白川郡620.94km²)で、県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方のほぼ中央を北に向かって流れる阿武隈川と東白川地方の南部を南東に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。

(2) 気候

県南地方の気候は、複雑な地形と山系の接近によって山岳気候の影響を強く受け、管内西部に位置する西白河地方では比較的冷涼で気温が低く、降雨量が多いのに対し、東南部の東白川地方は温暖で積雪は極めて少ない気候となっています。

なお、白河合同庁舎の標高は356.63mに位置しています。

(3) 人口

管内の人口は、平成18年10月1日現在、153,132人(49,250世帯)で、県人口の7.4%(世帯数で6.9%)を占めており、その内訳を見ると、西白河郡が75.8%(同77.5%)、東白川郡が24.2%(同22.5%)を占めています。

また、国勢調査(H17)では、多くの市町村で人口減となる中で、西郷村(増加率4.6%)、白河市(同0.4%)で増加しています。



II 農業・農村・森林林業

(1) 就業者構造

管内の就業者総数(15歳以上)は76,321人で、産業別の内訳は、第1次産業が11.3%、第2次産業が39.0%、第3次産業が49.3%をそれぞれ占めています。

管内の第1次産業就業者の内訳を見ると、農業が96.4%、林業が3.5%、漁業が0.1%を占めています。(H17国勢調査)

(2) 農家数・林家数

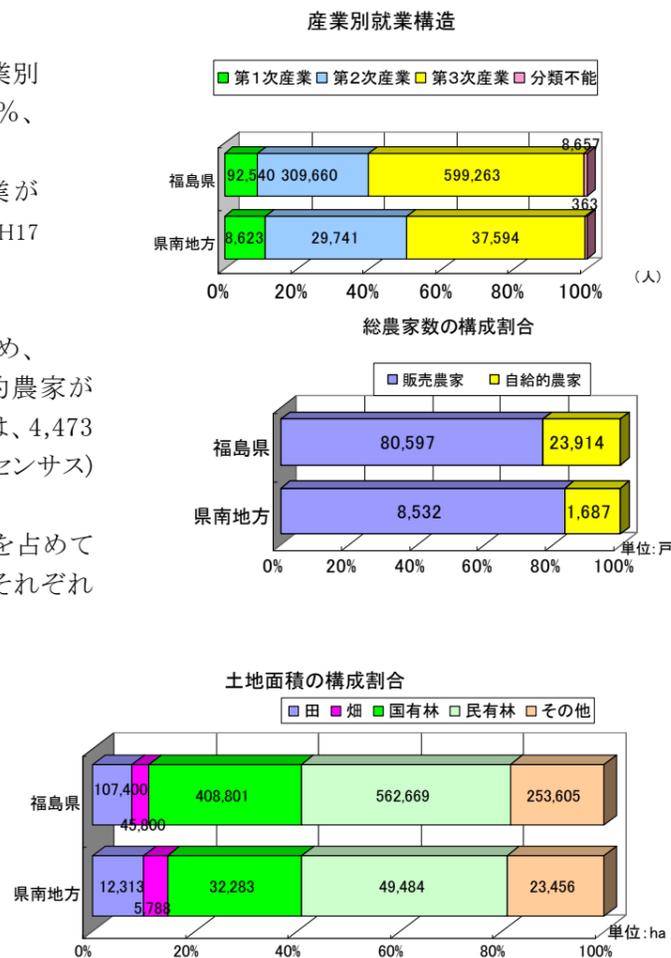
管内の総農家数は10,219戸で県全体の9.8%を占め、内訳を見ると、販売農家が83.5%(8,532戸)、自給的農家が16.5%(1,687戸)となっています。また、管内の林家数は、4,473戸で、県全体の10.6%を占めています。(H17農林業センサス)

(3) 耕地面積・森林面積

管内の土地面積のうち耕地面積(田、畑)は14.7%を占めており、その内訳を見ると、田が68.0%、畑が32.0%をそれぞれ占めています。

国有林・民有林を合わせた森林面積は、管内土地面積の66.3%を占めています。

(H17農林水産統計年報 H17農林業センサス)



(4) 農業産出額

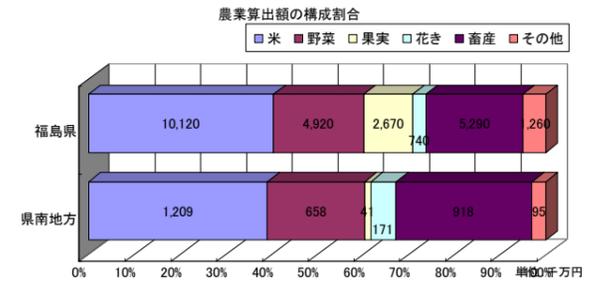
管内の平成17年の農業産出額は309億2千万円で、県全体の12.4%を占めています。(菌茸類を除く)

管内の農業産出額の内訳は最も多いのが米で120億9千万円で39.1%、次いで畜産の91億8千万円で29.7%、野菜の65億8千万円で21.3%、花きの17億1千万円で5.5%の順となっています。

農業産出額は、県全体の農業産出額が減少傾向にある中で、平成12年以降若干ではあるが増加推移を示していましたが、野菜、畜産の増加に比べ、米価の下落が大きかったため、前年より15億5千万円(▲4.8%)減少しています。

農家1戸当たり所得の順位では、中島村(3位)、矢吹町(4位)、泉崎村(5位)となっています。

(H17農林水産統計年報)



(5) 農産物の生産状況

管内における主要農作物の生産は米をはじめ、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくなどです。

平成17年の管内の作付面積を県全体に占める割合で見ると米が12.2%、トマトが23.6%、レタスが48.8%、ブロッコリーが30.5%、しゅんぎくが25.2%となっています。

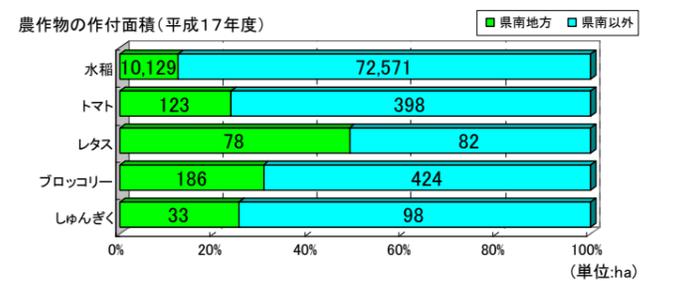
平成17年の管内のトマト、レタス、ブロッコリーの収穫量は、トマトが8,884t、レタスが1,688t、ブロッコリーが2,252tとなっており、県全体に占める割合で見ると、トマトが28.0%、レタスが62.5%、ブロッコリーが41.4%、しゅんぎくが22.8%となっています。また、トマト及びレタスの収穫量は白河市が県内で1位の収穫量で、ブロッコリーの収穫量は中島村が県内で2位の収穫量となっています。

平成18年の管内の乳用牛、豚の飼養頭数は、乳用牛が4,330頭、豚が48,250頭となっており、乳用牛の飼養頭数は西郷村が県内で2位の飼養頭数で、豚の飼養頭数は鮫川村が県内で1位の飼養頭数となっています。

管内の平成16年の素材生産量は114千m³であり、平成10年の55.9%となっています。

平成17年度の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が127t、生しいたけが920tとなっており、木炭は鮫川村が県内で2位の生産量で、生しいたけは白河市が県内で1位の生産量となっています。

(H17農林水産統計年報 H17福島県森林・林業統計書)



(6) ほ場整備の状況

管内の耕地面積のうち、田、畑を合わせた整備率は55.1%(水田の整備率65.8%、畑の整備率32.5%)となっており、県平均の58.2%(水田の整備率67.6%、畑の整備率36.4%)を若干下回っています。

(7) 農業集落排水処理施設の整備状況

管内ではいち早く農業集落排水処理施設の整備に取り組み、公共下水等を含めた汚水処理施設等の普及率は72.7%(うち、農集排24.4%)となっており、県平均の64.8%(うち、農集排6.0%)を上回っています。

(8) 林道の整備・保安林の指定状況

管内における平成17年度末の林道延長は382,299mで、林道密度は7.73m/haとなっており、県平均の林道密度7.13m/haを上回っています。なかでも、東白川郡については10.80m/haと県内で最も高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

また、管内における平成17年度末の保安林指定面積は4,029haで、昭和55年度末の保安林指定面積(2,286ha)の176%にまで伸びており、安全・安心のできる暮らしの実現を図るため計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成さらには計画的な治山事業を実施しています。

